

ひかり野

Saga University Library Bulletin

No.34

July 2010



目次 CONTENTS

図書館システムのリニューアル……………	1
平成21年度読書奨励企画活動報告 ……	2
図書館資料の整備 (留学生用・参考図書)……………	3
オリエンテーション(図書館案内)……………	3
附属図書館情報誌 「さらり」2号の発行……………	4
館内での飲み物……………	4
館内の施設整備……………	5

電子ジャーナルバックファイルの 整備……………	5
文献データベースの見直し……………	6
リンクリゾルバの導入……………	7
「シングルサインオン認証」による 文献データベースや電子ジャーナルの利用…	8

平成21年度図書館月間を開催 ……	9
貴重書の電子化……………	10
除籍図書のリユース……………	10
図書館内施設の一般開放……………	11
実習生の受入……………	11

受入資料紹介……………	12
図書館統計……………	13
人事異動……………	17
図書館日誌(行事・会議・研修等)…	18

悩んで変わる大学図書館

附属図書館長 稲岡 司

ある反米の中東人がアメリカンフットボールを見て、「ああ、やっぱりアメリカ人はバカだ。次にやるプレーを皆でいちいち相談しないと何にも出来ない」と言ったという笑い話がある。比喻が適切でないかもしれないが、今は大学全体いや日本全体がその中東人の言うアメリカンフットボールのようで、どの組織もその問題を確認し評価しなければ、前に進まないようである。大学図書館もその例外ではなく、就任してまだ3カ月に満たない新米館長でも、学内外の大きな会議につき合わされたおかげで、大学図書館の置かれている状況と問題点について、およそ把握することができた。

大学図書館が資料の収集・保存・管理・展示を行う「知の宝庫」で、大学の教育・研究の基盤となっており、また生涯学習などを通じて地域貢献にも大きく関わっているのは言うまでもない。そして、近年の電子情報システムの発展に伴って、時間・空間を超えて電子化された資料にアクセスし、また大学独自の資料を電子化して保存・管理し、これらを大学図書館のネットワークや総合情報基盤センター等との連携を通じ広く共有するようになったわけだが、そのために下記のような様々な問題が生じているのである。

佐賀大学附属図書館は全国の国立大学図書館の中で規模は中程度だが、図書館が上記のように開かれたシステムなため、図書館の組織の形態や規模によって生じる役割の違いより、共通の問題点の方が強調されるようである。それは、例えば電子ジャーナルのコストの問題であったり、図書館運営の効率化の問題であったり、機関リポジトリの問題であったり、メタ・データベースの構築や活用の問題であったりするわけである。

上記の問題はすべて「利用者の利益」になるようにと、図書館を管理運営する側が立ち向かっている問題なのであるが、皮肉なことに、大学の教員はほとんどこれを知らず、また一番の利用者であるべき学生が「図書館離れ」を起こしているのである。これは何も当図書館に限ったことではなく全国的なことで、学生が図書館に来なくなり、本を読まなくなっているのである。この現象に対して「ライブラリー・コモンズ」といった「カフェなどのある憩いの場所」を図書館内に設置して学生を呼び、教員もそこで講義をするなどの「処置」を始めたところもあるが、これらが本質的な「学生の質の向上」や「教育の質の向上」に結びつくかどうか現段階では疑問である。

当図書館でも、昨年の認証評価で「学生用図書の一層の充実」が望まれたこともあり、これを追い風として「学生に読ませたい図書を多く揃えるばかりでなく、図書館内外の読書環境を整えよう」という趣旨で「あげる佐賀48」というアクションを、図書館課長の号令以下スタッフ全員で行うことにした。何らかの「効果」が見られるには時間がかかると思われるが、当図書館関係者の皆様方にはアメリカンフットボールを見るよりは深いご理解と温かいご支援を、今後ともお願いする次第である。

図書館システムのリニューアル

附属図書館では、平成22年3月に図書館業務システム及び利用者向けWebサービスシステムをリニューアルしました。今回のリニューアルでは、Webサービスにおける「読書・読書奨励コミュニティの創設」をコンセプトにした蔵書検索システム(OPAC)や図書館ポータル(My Library)の充実を第一の目標としました。

蔵書検索システムでは以下の資料案内機能、資料検索機能を付加し、読書のためのガイドを強化しました。

- ・ 図書詳細表示画面に、(1)図書内容・目次情報の表示、(2)貸出履歴を利用した貸出(読書)傾向の表示、(3)教職員お薦めの図書、ブックレビューの表示、(4)図書館配置資料のマップでの案内
- ・ 検索画面に、(1)図書館配置資料のみを対象とした検索機能、(2)教職員お薦めの図書、ブックレビュー有り図書、ベストリーダー図書を指定した検索機能



【図書詳細表示画面】



【OPAC検索画面】

図書館ポータルでは以下の機能を実装して個人向けサービスを強化しました。

- ・ ホーム画面に、(1)カレンダー形式での休館日、貸出資料の返却期限、グループ学習室予約日等の表示、(2)利用者種別、所属館、学部等、利用者グループごとに必要なお知らせのみ表示
- ・ サービスメニューに、(1)貸出履歴管理、(2)読書プラン作成、(3)教職員お薦めの図書、ブックレビュー登録等の機能追加



【図書館ポータル・ホーム画面】

また、図書館ポータルは大学関係者だけでなく、一般市民の方にも機能制限付きで開放し、貸出履歴管理やブックレビュー等のサービスを提供することにしました。さらに、教務側システムとの連携を果たし、(1)教務ポータル画面で図書館からのお知らせ表示、(2)教務システムでのシラバス参照時に図書館OPACによる参考書等の所蔵確認機能、を実装しました。

このように、今回のシステムリニューアルは、OPACの図書詳細画面を中心とした「読書コミュニティでの情報共有により学生の読書意欲を刺激すること」を中心として考えました。今後、図書館ではオリエンテーションや説明会を通して学生へのPRを図っていきたいと考えています。

教職員のみなさまには、「お薦めの図書」「ブックレビュー」の登録、シラバス作成時のOPAC参照による教科書、参考書の登録等のご協力をお願いします。

平成21年度読書奨励企画活動報告

昨年に引き続き、今年も学生参加型の企画である学生選書の活動を行いました。中でも活動の中心である選書ツアーは、書店で直接本を手にとって選書できるという点で、学生の満足度が高く人気のイベントになっています。場所は福岡と佐賀の書店で行いました。また、佐賀では地元の公共図書館の見学も行い、大学図書館とはまた雰囲気が違う、公共図書館ならではの蔵書や施設などを興味深く見学できたようです。

他の選書方法として、オンライン選書と店頭選書を実施し、学生選書委員会で審議されたのち、一年間で281冊の図書を購入しました。

学生選書委員からの声や選書された図書を利用する学生の様子を通して、選書や図書館に対する関心の高さを知ることができ、よりよい図書館づくりにつなげることができることから、今後もこのような企画を継続していく予定です。



選書風景

図書館資料の整備(留学生用・参考図書)

佐賀大学には約300名の留学生が在籍し、中国を始め韓国やインドネシア、バングラデシュ等おもにアジア各地の出身の方々が日々、勉学に励んでいます。本館では、アジア各地からの留学生のため、インドネシア語、ヒンディー語、マレーシア語辞典など、今まで数が少なかった地域の辞典類をそろえました。

また、参考図書コーナーの図書については、最新版を購入し、現在所蔵しているものが古い場合は新しい版への入替を行うなどの整備をしました。

参考図書コーナーは、図書館1階のカウンター前を通り、右手の方にありますので、ご利用ください。今年度以降も、引き続き、利用者みなさんにとって有用な参考図書をそろえていく予定です。

オリエンテーション(図書館案内)

附属図書館では、利用者が学習・研究を行う上で必要な学術情報を活用できるよう、主に新入学の時期に、毎年オリエンテーション(図書館案内)を実施しています。

今後も、利用者のニーズに配慮して、内容のバージョンアップを図っていきますので、ぜひご利用ください。



オリエンテーション風景



3年生EBM関連 データベース講習会

EBMとは

- Evidence - B
エビデンス(科)
- エビデンス(科)
臨床試験(ラン
からのデータを



附属図書館 医学分館
2009. 7/21, 7/23, 7/24

医学科3年生向けEBMデータベース講習会時の配付資料(一部抜粋)

附属図書館情報誌「さらり」2号の発行

新入生向けに附属図書館情報誌「さらり」2号を発行しました。今回は、「図書館的大学生生活START!」と題した特集で、入学時から試験期までの図書館活用法について館内の施設や資料を紹介しています。他にも図書館ホームページにあるWebサービスの活用法やおすすめ本、貸出ランキングなどを掲載し、新入生が大学図書館に関心を持ってくれるような内容、デザインで構成されています。



館内での飲み物

平成21年度より、熱中症予防など、利用者の方の健康面への配慮から、キャップ付きペットボトルや水筒の飲料物について、館内での利用制限を一部解除しました。飲料物を利用できる場所については、閲覧席(パソコン設置席、視聴覚機器の席以外)となっています。図書館施設および機器・設備類保護の観点から、パソコンや視聴覚機器を設置している席、書架・書庫、複写コーナーは飲料物禁止場所に指定されています。また、飲料物の種類も、水、お茶と限定されています。(ジュース、コーヒーは禁止飲料物となっています。) 利用可能な場所であっても、歩きながら飲む行為は禁止しています。なお、飲料物を利用後は、かばんの中に入れるようお願いいたします。

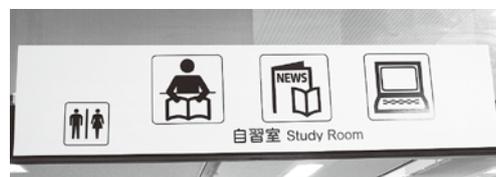
ご理解とご協力をよろしくお願いたします。

館内の施設整備

本館・医学分館では、利用者の方に快適・安全に図書館を使っていただけるように、利用環境の整備・充実を行いました。

- ① 地上デジタル放送、ブルーレイディスクなど、時代の変化に応じた図書館サービスが提供できるように本館マルチメディアルーム・医学分館LL室の視聴覚機器の入替えを行いました。
- ② 地震が発生した場合に備え、本が落下するのを防ぐための落下防止シートを設置しました。
- ③ 省エネ対策として窓ガラスに断熱・遮光フィルムを貼りました。
- ④ 蛍光灯は省エネで明るいタイプに交換を行いました。
- ⑤ 本館では、館内サインについて全面的な見直しを行い、日本語に不慣れな留学生のためにサインは日本語と英語で表記しました。また、老朽化した自習室、グループ学習室の机と椅子を新しく使いやすいものに入替えを行いました。
- ⑥ 医学分館では、自動貸出・返却機の機器更新、ビデオスライド室の机の入替えを行いました。

利用者の方には、学習、情報収集にリニューアルした図書館をさらに活用していただきたいと思います。引き続き、利用環境の整備を進めていきます。



本館 サイン



本館 自習室



本館 グループ学習室



医学分館 LL室

電子ジャーナルバックファイルの整備

附属図書館では、平成21年度にエルゼビア社のサイエンス・ダイレクト・サブジェクト・バックファイル・コレクションを26分野購入しました。過去に2分野を購入していましたので、今回ですべての分野を購入したことになります。

これにより、エルゼビア社のほとんどすべての電子ジャーナルの、創刊号から現在までの利用が可能となりました。

他に下記の電子ジャーナルバックファイルも整備しました。

- ・Wiley InterScience (5分野、創刊号～1996年)
- ・Nature Archive (1992-1996年)

附属図書館ホームページの電子ジャーナルリストから利用できますので、是非とも利用者みなさんの研究・学習に役立てていただければと思います。

文献データベースの見直し

附属図書館選書専門委員会で導入文献データベースについて見直しの検討を行い、平成22年度以降について以下のとおり変更を行いました。

○ 新規導入

・ BOOKPLUS

和図書の内容・目次情報データベース(1986～)

・ 聞蔵II ビジュアル

朝日新聞記事データベース(創刊[1879]～)

従来の「聞蔵」のアップグレード版

・ ヨミダス歴史館

読売新聞記事データベース(創刊[1874]～)

・ ジャパンナレッジ

「日本大百科全書」、「大辞泉」などの事典・辞書類の検索サービス

・ Academic Search Premier

外国語文献データベース

教育学データベースERIC及び医学データベースMEDLINEが付随

○ 導入中止

・ MAGAZINEPLUS

・ MLA International Bibliography

・ Inside Web



【ジャパンナレッジ ホーム画面】



【Academic Search Premier ホーム画面】

BOOKPLUSはOPACにおける図書の内容・目次紹介のためのデータソースともなり、蔵書検索サービスの質の向上に寄与しています。またAcademic Search Premierは、対象となるタイトルは限定されますが、フルテキストを提供するとともに文献間の引用・被引用関係を調査することのできるデータベースとして有用です。

リンクリゾルバの導入

附属図書館では、平成22年3月に図書館システムのリニューアルの一部として、「リンクリゾルバ」と呼ばれる文献入手ナビゲーションツールを導入しました。製品は、ExLibris社の「S F X」です。

リンクリゾルバは文献データベースの検索結果から「中間窓」と呼ばれるウィンドウを介して、電子ジャーナルの利用可否案内やOPACでの冊子体雑誌所蔵調査結果案内を行うことができ、本学が導入している文献データベース利用と電子ジャーナル利用の密連携を可能としました。



【SFX「中間窓」画面】

電子ジャーナルが利用できない、冊子体雑誌も所蔵していない場合の外部機関への文献複写依頼時も、文献の書誌事項をWebの申込画面の項目に自動転記することができます。

また、「A-Zリスト」と呼ばれる電子ジャーナルリスト管理機能により、従来図書館職員では管理が困難だった無料電子ジャーナルの利用を容易にし、現在契約ジャーナル約1万4千タイトル(CiNii機関購読タイトル、Academic Search Premierフルテキスト提供タイトル等を含む。)及び無料ジャーナル約3万7千タイトルを登録しています。



【SFX「A-Zリスト」画面】

リンクリゾルバのナビゲーション機能及びA-Zリストの利用により、本学の研究者や学生の文献入手が円滑・効率的に行え、研究や学習に少しでもお役に立てれば幸いです。

「シングルサインオン認証」による文献データベースや電子ジャーナルの利用

平成22年3月に行われた総合情報基盤センターのリプレースにより「シングルサインオン認証」システムが実装されました。



【佐賀大学シングルサインオン認証画面】

この認証システムを利用することにより、本学が導入している文献データベースや電子ジャーナルを出張先や自宅からキャンパス内と同様に利用できるようになりました。6月現在、利用準備が完了したものは日本語文献データベースCiNiiと電子ジャーナルSpringer LINKの2つです。



【CiNiiのシングルサインオン認証誘導画面】

ElsevierのScience DirectやOvidSP（医学系文献データベースや電子ジャーナル）は、現在提供元と連携について調整中です。また、医中誌Webは提供元がシングルサインオン認証への対応を準備中とのことです。図書館では、シングルサインオン認証を利用した文献データベースや電子ジャーナルの利用説明会の開催を予定しています。

平成21年度図書館月間を開催

附属図書館では、地域に根ざした生涯学習の拠点としてサービスを提供するという目的のもと、毎年11月を図書館月間として催しを行っています。今年度は「医のこころ ―死生観、医療サービス、科学としての医を考える―」というテーマのもとに計6回にわたって講演会を行いました。講演者には生命に関わる重要な問題である「医」について、それぞれ異なる立場と視点から捉えた講演をいただきました。極めて身近なテーマでありながら、なかなかじっくりと根底から考える機会のないテーマであったので、参加者には人と「医」を考える良い機会になりました。資料展示は「佐賀出身の文学者たち ―中島哀浪・宮地嘉六・下村湖人・三好十郎・戸川幸夫―」というテーマで行い、佐賀生まれの文人たちを資料で紹介しました。

講演会

会場：佐賀大学附属図書館本館4階会議室

11月4日(水) 14:00～

「インフルエンザ：パンデミアの変遷と今日的危機」

佐賀大学附属病院感染制御部診療教授 青木洋介

11月4日(水) 15:30～

「仏教からみたヒトの生き方」

浄土真宗円光寺住職 五十嵐雄道

11月17日(火) 14:00～

「こころアレルギー ―人間関係免疫力の低下―」

佐賀大学保健管理センター教授 佐藤武

11月17日(火) 15:30～

「オープンシステムサイエンス ―システム生物学を中心に―」

ソニーコンピュータサイエンス研究所 白石哲也

11月19日(木) 14:00～

「ヒポクラテスの誓いからヘルシンキ宣言2008年版まで」

佐賀大学附属病院総合診療部教授 小泉俊三

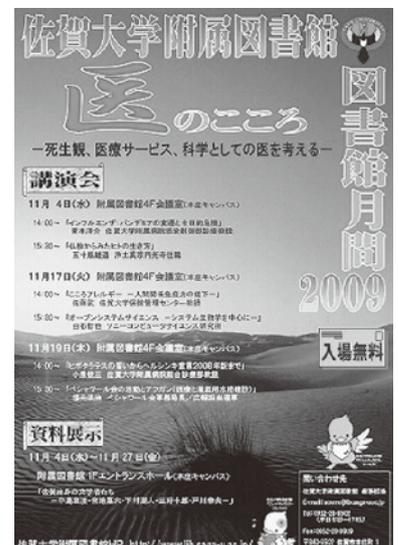
11月19日(木) 15:30～

「ペシャワール会の活動とアフガン(医療と灌漑水路建設)」

ペシャワール会事務局長／広報担当理事 福本満治



講演する五十嵐氏



図書館月間ポスター

資料展示

会場：佐賀大学附属図書館本館1階エントランスホール

日時：11月4日(水)～11月27日(金)

「佐賀出身の文学者たち ―中島哀浪・宮地嘉六・下村湖人・三好十郎・戸川幸夫―」

貴重書の電子化

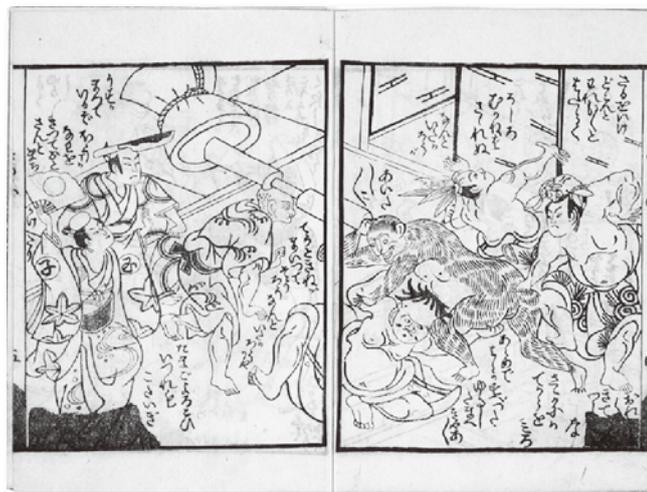
平成21年度は「市場直次郎コレクション」の中から近世小説に分類される以下13点の電子化を行い、佐賀大学電子図書館「とんぼの眼」において公開しました。

区分	書名	区分	書名
赤本	さるかに合戦	人情本	藐姑射秘言
黒本・青本	金時一代記(扉)	人情本	当世とらの巻(内)
艶本	色競手管巻	人情本	風月花情 春告鳥
艶本	恋路八景 付色道秘尽	人情本	青楼心得艸
艶本	春情花姻寿比	人情本	春色雪の梅 初編
艶本	豆右衛門後日 女男色遊	人情本	清談若緑
艶本	東籬莠香輯		

昔話として馴染み深い「さるかに合戦」も含まれています。ぜひ「とんぼの眼」貴重書コレクション〈<http://www.dl.saga-u.ac.jp/OgiNabesima/>〉でご鑑賞ください。



さるかに合戦



除籍図書のリユース

除籍した図書の有効利用を図るため、学生教職員に無償譲渡を行いました。また、協定校であるハノイ国家大学外国語大学へ200冊を寄贈し、佐賀県読書推進運動協議会主催のリサイクルフェアに約20冊を提供しました。本館で除籍した図書の約半数が廃棄を免れ、リユースされました。

来年度以降も、除籍図書のリユースのための活動を実施していく予定です。

図書館内施設の一般開放

一般市民の学習熱の高まりに配慮し、図書館内施設の一般開放を行いました。

平成21年6月30日に、佐賀大学附属図書館利用規程(図書館施設、設備)第6条を改定し、学生教職員の利用に支障のない範囲内において、一般市民の方がマルチメディアルーム、グループ学習室を利用できるようにしたものです。

これにより、一般市民の視聴覚資料(禁帯出資料)の館内視聴、グループ学習の専用室を使用した学習が可能になりました。

実習生の受入

文化教育学部附属特別支援学校の現場実習生を下記のとおり受け入れました。

平成21年6月8日(月)～6月19日(金) 中学3年生 1名

実習内容

館内清掃、書架整理、図書不正持出防止テープの装備



実習風景

雇用能力開発機構事業「職業訓練」による企業実習生を下記のとおり受け入れました。

平成21年8月3日(月)～9月29日(火) 2名

平成22年2月1日(月)～3月30日(火) 1名

実習内容

図書の受入、資産台帳の調査、研究業績の入力、文献複写、研究室図書の返却

受入資料紹介

学生用図書

平成21年度学生用図書費により、以下のとおり図書を購入しました。

教員推薦図書	2,067冊
学生希望図書	314冊
図書館推薦図書	1,418冊
継続購入図書	556冊

寄贈図書

○大学関係者著作図書

- ・元教育学部 小川泰彦教授
[単著]傘寿記念 染色 小川泰彦展/小川泰彦編 小川泰彦
- ・文化教育学部 早瀬博範教授
[単著]アメリカ文学における階級：格差社会の本質を問う/早瀬博範 英宝社

○その他

- ・元理工学部 堀 勇治助教
有機合成化学協会誌 有機合成化学協会
- ・井上ちあき
鋼構造接合部設計演習/日本鋼構造協会H形鋼構造接合部特別委員会編 技報堂
床鋼板構造設計施工規準・同解説/日本鋼構造協会デッキプレート特別小委員会編 技報堂
床の間廻り詳細：床の間廻り作品123点/建築思潮研究所編集 建築資料研究社
- ・川村朋貴
海域世界のネットワークと重層性/川村朋貴、小林功、中井精一編 桂書房
- ・大庭卓也
福岡藩儒竹田春庵宛書簡集/川平敏文、大庭卓也、菱岡憲司編 雅俗の会

図書館統計

〈平成22(2010)年3月31日現在〉

◆基盤統計◆

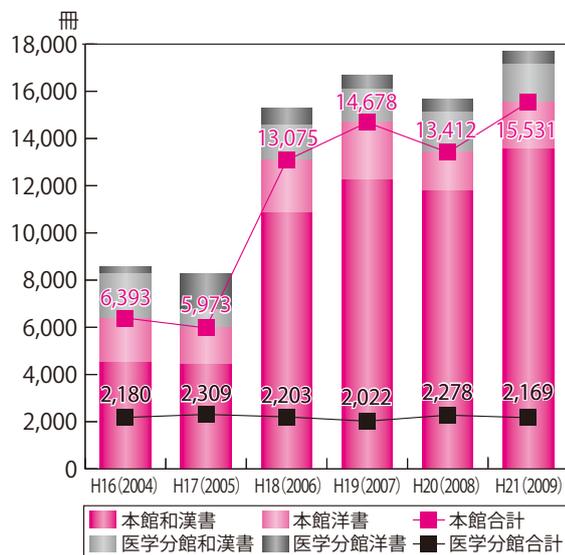
図書館蔵書冊数 (冊)

	和漢書	洋書	合計
本館	418,670	189,974	608,644
医学分館	63,387	43,665	107,052
合計	482,057	233,639	715,696

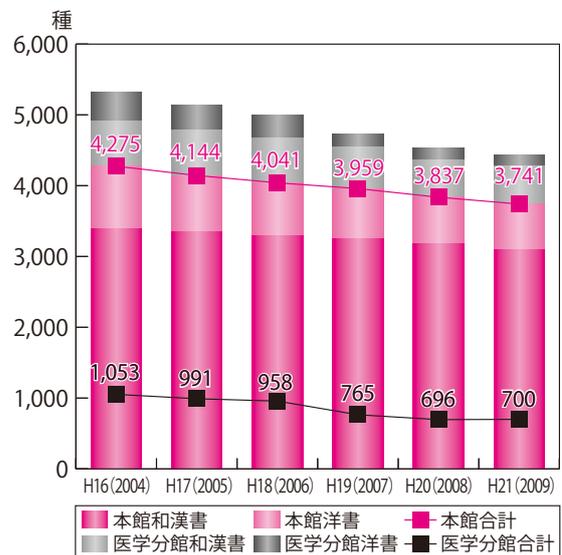
雑誌所蔵種類数 (種)

	和漢書	洋書	合計
本館	6,479	2,961	9,440
医学分館	1,021	996	2,017
合計	7,500	3,957	11,457

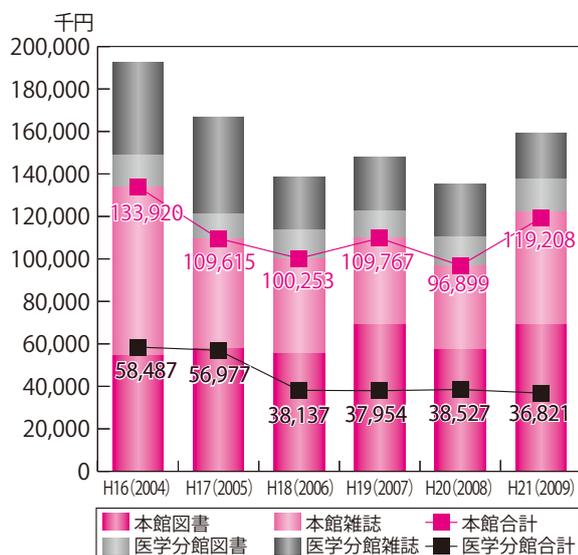
図書受入冊数



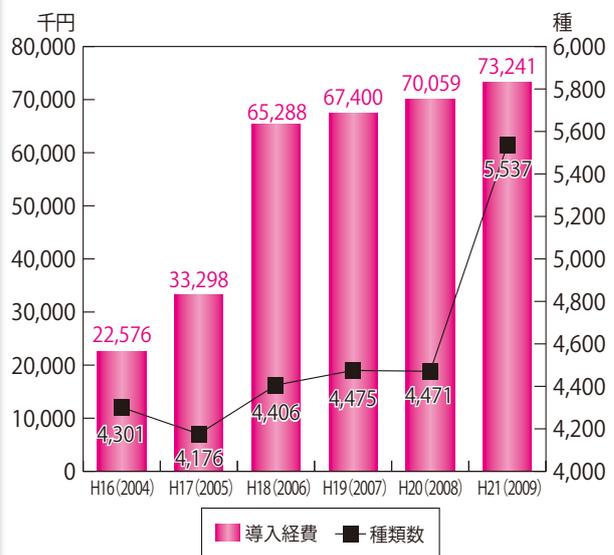
雑誌受入種類数



図書館資料費



電子ジャーナル導入経費と種類数



◆サービス統計◆

開館日数

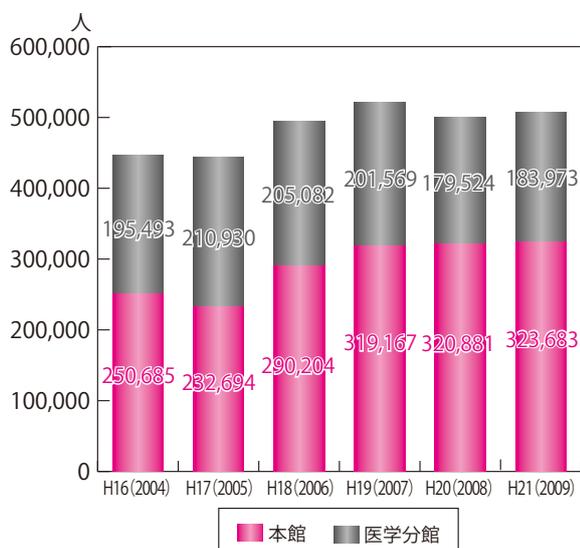
(日) 利用対象者数

〈平成22(2010)年5月1日現在〉(人)

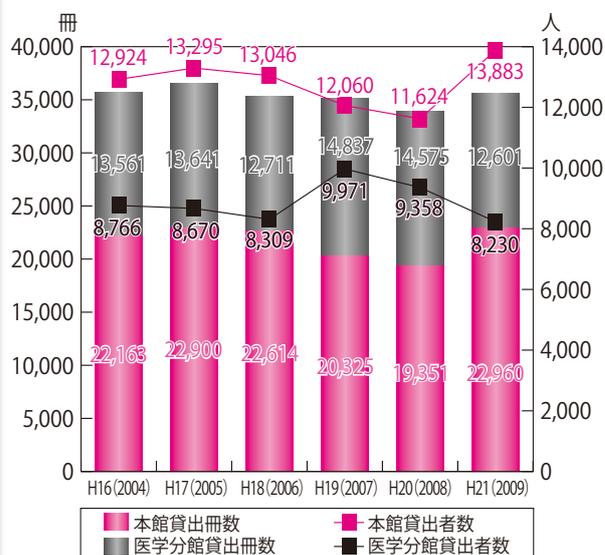
	本館	医学分館
平日	222	241
土・日・祝日	105	89
合計	327	330

	本館	医学分館	合計
学生	6,456	1,077	7,533
教職員	1,054	1,248	2,302
合計	7,510	2,325	9,835

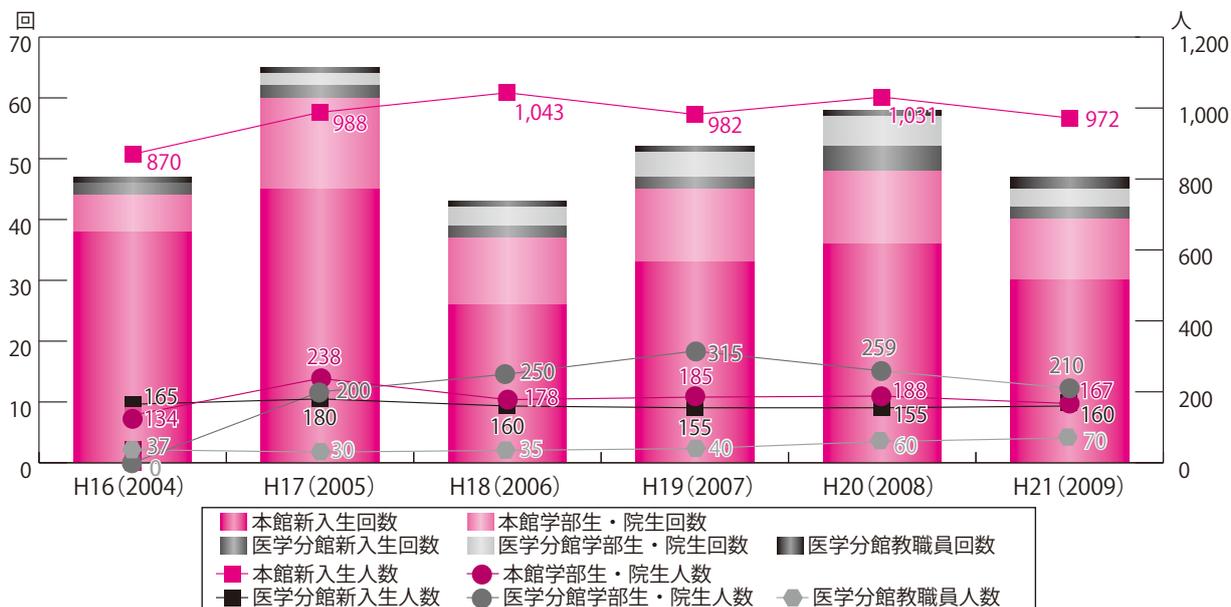
入館者数



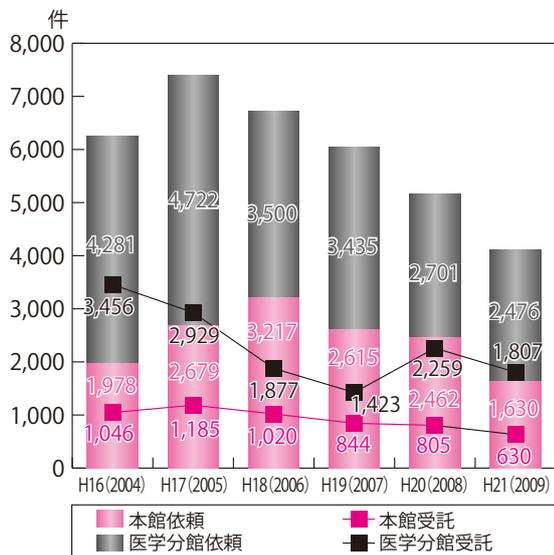
貸出冊数と貸出者数



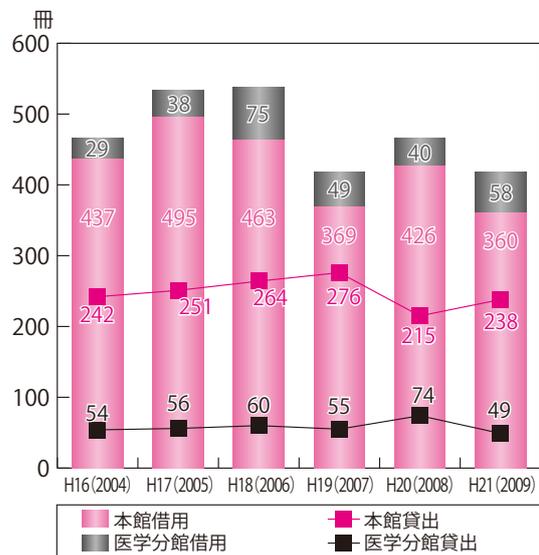
オリエンテーション(図書館案内)



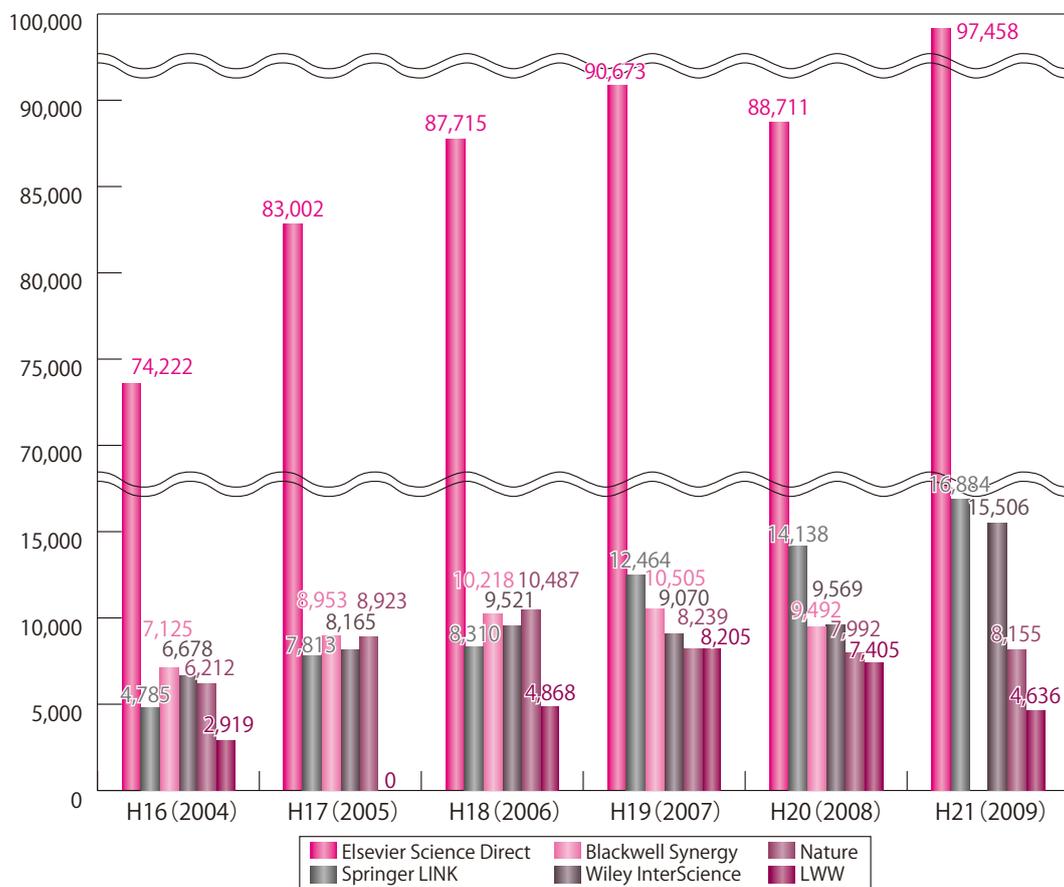
文献複写件数



相互貸借冊数



電子ジャーナル利用件数



・LWWはH17(2005)契約中止
 ・BlackwellとWileyはH21(2009)統合

文献データベース利用件数

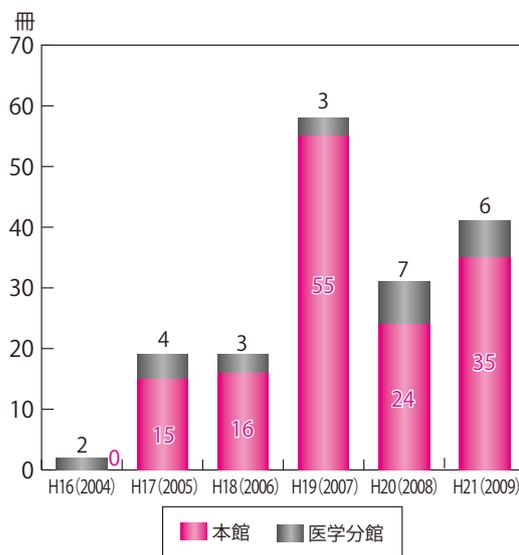
年度	CiNii	Magazine Plus	聞蔵	日経テレコン	日経BP 記事索引	医中誌 Web	SciFinder Scholar	Inside Web	MLA	Ovid *	UpTo Date
H16 (2004)	—	2,680	—	—		97,188	4,474	—	152	19,084	7,989
H17 (2005)	(12,422)	2,867	—	—		137,606	4,564	—	140	12,680 (26,507)	5,350
H18 (2006)	(17,820)	2,558	700	—		233,763	4,470	—	244	15,659 (40,298)	5,117
H19 (2007)	11,294 (40,421)	2,009	595	—		240,670	4,186	—	135	16,721 (36,578)	4,880
H20 (2008)	14,145 (42,702)	2,703	759	(263,106)	(3,430)	235,026	4,159	—	151	12,684 (23,447)	3,197
H21 (2009)	12,750 (72,456)	2,071	928	(216,239)	(2,824)	255,142	9,282	—	175	7,348	2,533

* 括弧内は検索回数又は本文利用回数 * “—”は統計データなし

一般市民への貸出冊数



県内公共図書館への貸出冊数



人事異動

〈平成21年4月1日～平成22年3月31日〉

	発令年月日	氏名	新職名	旧職名
採用	21.4.1	野口順子	学術研究協力部情報図書館課 事務補佐員	
採用	21.4.1	相良恵美	学術研究協力部情報図書館課 事務補佐員	
採用	21.4.1	峯松志衣奈	学術研究協力部情報図書館課 事務補佐員	
採用	21.4.1	中村麻里子	学術研究協力部情報図書館課 事務補佐員	
退職	21.6.30	田中華子		学術研究協力部情報図書館課 係長(雑誌主担当)
配置換	21.7.1	三浦聡子	学術研究協力部情報図書館課 係長(図書雑誌主担当)	学術研究協力部情報図書館課 係長(図書主担当)
採用	21.9.1	疋田恵介	学術研究協力部情報図書館課 司書	
転出	22.3.31	瓜生照久	鹿児島大学附属図書館学術情 報部情報サービス課長	学術研究協力部情報図書館課 長

図書館日誌(行事・会議・研修等)

平成21年

- 4月15日 平成21年度 第1回附属図書館選書専門委員会(メール会議)
「平成21年度読書奨励企画活動計画について」
- 4月23日 第39回九州地区国立大学図書館協会総会
(当番館：琉球大学附属図書館 於：沖縄ハーバービューホテル)
- 4月24日 第60回九州地区大学図書館協議会総会
(当番館：琉球大学附属図書館 於：沖縄ハーバービューホテル)
- 5月11日 第2回九州地区図書館の集い
これからの図書館像 ―混沌の時代から放たれる未来への光を求めて―
(主催：日本図書館協会 於：伊万里市民図書館)
- 5月28日 平成21年度福岡県・佐賀県大学図書館協議会総会
(理事館：佐賀大学附属図書館)
- 5月29日 平成21年度 第2回附属図書館選書専門委員会(メール会議)
「平成21年度学生選書委員の選考について」
- 6月11日 平成21年度 第1回附属図書館医学分館運営委員会(メール会議)
「附属図書館利用規程改正(案)について」
- 6月 8日～19日 現場実習生を受入
「佐賀大学文化教育学部附属特別支援学校中学部3年生 1名(女子)」
- 6月19日～20日 第56回国立大学図書館協会総会
第5回国立大学図書館協会マネジメント・セミナー
第1回国立大学図書館館長フォーラム
(当番館：新潟大学附属図書館 於：新潟コンベンションセンター)
- 6月30日 平成21年度 第1回附属図書館運営委員会
「平成20年度決算及び平成21年度予算(案)について」他
- 7月 2日 平成21年度 第3回附属図書館選書専門委員会(メール会議)
「本館学生用図書(学科推薦図書)の購入について」他
- 7月 6日～17日 平成21年度大学図書館職員長期研修
(於：筑波大学)
- 7月 9日～10日 平成21年度CSI委託事業(コンテンツ系)報告交流会
(於：国立情報学研究所)
- 7月 9日～10日 平成21年度北部地区研究会目録講習会
(於：九州国際大学)
- 7月30日～31日 平成21年度佐賀大学リーダー研修
(於：菱の実会館多目的ホール)
- 8月 3日～
9月29日 雇用能力開発機構事業
「職業訓練」による企業実習生を受入
- 8月 5日 平成21年度 第2回附属図書館医学分館運営委員会
「平成20年度決算及び平成21年度予算(案)について」他
- 8月 7日 平成21年度佐賀県大学図書館協議会総会
(当番館：西九州大学)

- 8月12日 第1回学生選書ツアー
(於：福岡市 ジュンク堂福岡店, 丸善福岡ビル店)
- 9月9日 第2回学生選書ツアー
(於：佐賀市 紀伊國屋書店ゆめタウン佐賀店 見学：佐賀市立図書館)
- 9月16日～18日 平成21年度目録システム講習会(図書コース)
(於：長崎大学附属図書館)
- 9月29日～10月2日 平成21年度九州地区国立大学法人等係長研修
(於：グローバルアリーナ(宗像市))
- 9月24日 平成21年度佐賀大学接遇・マナー研修
(於：菱の実会館多目的室)
- 9月24日 平成21年度 第1回福岡県・佐賀県大学図書館協議会南部地区研究会
(当番館：佐賀女子短期大学 於：佐賀女子短期大学)
- 9月25日 平成21年度 第3回附属図書館医学分館運営委員会(メール会議)
「教育・研究用推薦図書の推薦結果について」他
- 10月9日 第57回九州地区医学図書館協議会総会
(当番館：産業医科大学図書館 於：ホテルクラウンパレス北九州)
- 10月15日 平成21年度 第4回附属図書館医学分館運営委員会(メール会議)
「2010年外国雑誌の購読形態の変更・選択について」他
- 10月15日～16日 「持続可能な機関リポジトリのための人材進化構造」第3回講習会
(於：九州大学情報基盤研究開発センター)
- 10月29日 平成21年度 第4回附属図書館選書専門委員会(メール会議)
「本館学生用図書(教員推薦図書)の購入について」他
- 11月5日～6日 平成21年度九州地区国立大学図書館協会実務者連絡会議
(於：琉球大学附属図書館)
- 11月6日 平成21年度 第5回附属図書館医学分館運営委員会(メール会議)
「学生希望図書選定について」
- 11月11日～12日 第11回図書館総合展
(於：パシフィコ横浜)
- 11月4日～27日 図書館月間講演会及び資料展示(資料展示期間：4日～27日)
(於：附属図書館4F会議室, 1Fエントランスホール)
講演会テーマ
「医のこころ - 死生観、医療サービス、科学としての医を考える -」
(4日、17日、19日に6回開催、詳細は記事をご参照ください。)
資料展示
「佐賀出身の文学者たち
- 中島哀浪・宮地嘉六・下村湖人・三好十郎・戸川幸夫 -」
- 12月1日 平成21年度 第1回附属図書館評価専門委員会(メール会議)
「平成20年度部局等自己点検・評価報告書について」
- 12月3日 学術認証フェデレーション及びSINETサービス説明会
(於：九州大学附属図書館)
- 12月3日～4日 第15回交通流のシミュレーションシンポジウム
(於：名古屋大学東山グリーンサロン)

- 12月 4日 平成21年度九州地区国立大学附属図書館長・事務(部・課)長会議
(於：九州大学伊都図書館)
- 12月10日 佐賀県内図書館横断検索システムに係る操作研修
(於：佐賀県自治修習所(レナセル))
- 12月11日 平成21年度 第2回附属図書館運営委員会(メール会議)
「平成21年度 第1回附属図書館評価専門委員会(メール会議)について(報告)」他
- 12月11日 第18回九州地区医学図書館員セミナー
(於：久留米大学医学部筑水会館)
- 12月14日 佐賀大学附属図書館自己点検・評価に関わる外部評価
(於：佐賀大学附属図書館)
- 12月24日 シンポジウム「学術情報流通の改革をめざして 3」
(於：東京大学大学院理学系研究科 小柴ホール)

平成22年

- 1月21日～22日 「持続可能な機関リポジトリのための人材進化構造」第4回講習会
(於：九州大学情報基盤研究開発センター)
- 2月 1日～
3月30日 雇用能力開発機構事業
「職業訓練」による企業実習生を受入
- 2月 5日 平成21年度 第6回附属図書館医学分館運営委員会(メール会議)
「祝日開館及び土・日の夜間開館について」他
- 2月12日 平成21年度 第2回福岡県・佐賀県大学図書館協議会南部地区研究会・総会
(当番館：佐賀大学附属図書館 於：佐賀大学附属図書館)
- 2月18日 平成21年度 第5回附属図書館選書専門委員会
「文献データベースの見直しについて」他
- 2月23日 九州大学附属図書館 平成21年度研修報告会
(於：九州大学附属図書館)
- 3月 8日 平成21年度 第7回附属図書館医学分館運営委員会(メール会議)
「学生希望図書選定について」
- 3月12日 UPKI シンポジウム2010
(於：一橋記念講堂(学術総合センター))
- 3月17日 平成21年度 第6回附属図書館選書専門委員会
「平成22年度附属図書館蔵書整備計画(案)について」他
- 3月23日 平成21年度 第8回附属図書館医学分館運営委員会(メール会議)
「学生希望図書選定について」
- 3月30日 平成21年度 第3回附属図書館運営委員会(メール会議)
「平成21年度(第4回、第5回、第6回)選書専門委員会報告について」他

貴重書紹介

『新訂増補和蘭薬鏡』(洋学資料コレクション)



佐賀大学附属図書館蔵

解説

津山藩医で蘭学者宇田川玄真(1769～1834)が、ドドネウス(R. Dodonaeus)やブランカルツ(S.Blankaart)などの西洋本草書や薬説20余部から抄訳し、和漢の本草と比定した稿本を、宇田川榕庵(1798～1846)が校訂し、文政3年(1820)に『和蘭薬鏡』3巻を刊行した。さらに榕庵は増補編集をすすめ、『新訂増補阿蘭陀薬鏡』(文政11年・1825～天保6・1835)、6冊18巻を刊行した。これが本書である。各品の形状・効能・治験・製剤などを記し、水脈、腠液などを新語として紹介した。西洋薬が入手しにくい時代の蘭学者にとり、大変有益な書となった。

(地域学歴史文化研究センター教授 青木歳幸)